

＜ビバリーモーニング24-1＞日米共同警備・防衛訓練(1) *US, Japan defenders practice security defense during BM 24-1*

November 2, 2023

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) 10月23日、横田基地で行われた演習「ビバリーモーニング24-1」で、航空自衛隊横田基地の航空総隊司令部庁舎前を、空自軽装甲車でパトロールする航空自衛隊作戦システム運用隊の隊員たち。あらゆる安全保障上の混乱や不測の事態に備えるため、米空軍と航空自衛の隊員はシナリオを通じて即応体制をテストした。



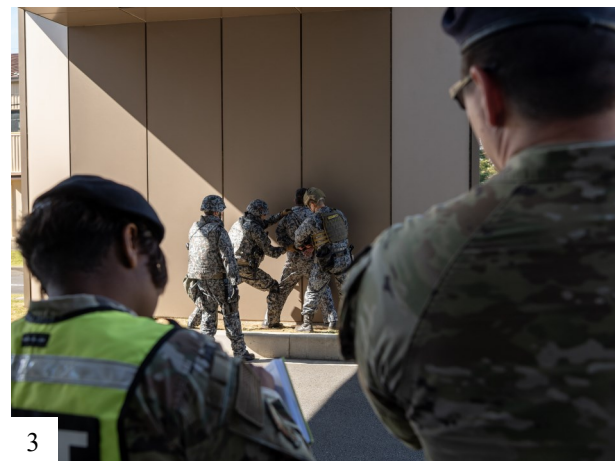
1

(写真2) 不正侵入の模擬訓練で、部隊の指揮管理部に状況報告を行う第374憲兵隊パトロール隊員カルロス・バスケス上級空兵。(撮影: 10月23日)



2

(写真3) 航空自衛隊航空総隊司令部庁舎の前で、隊員が(模擬不正侵入者を)逮捕する様子を確認し、メモをとる第374憲兵中隊監査チームのディアメトリス・マクラネリー曹長(左)。(撮影: 10月23日)



3

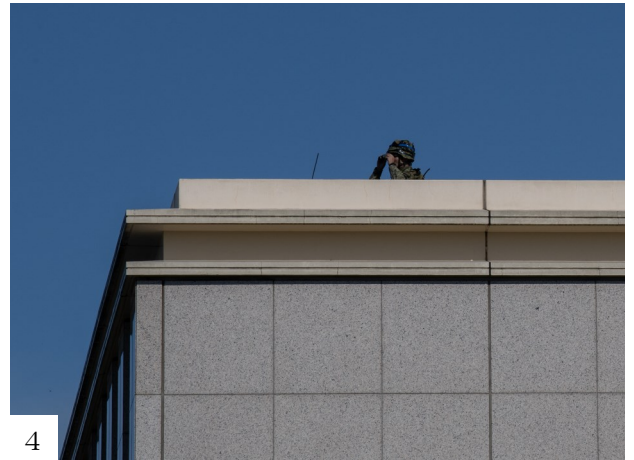
＜ビバリーモーニング24-1＞日米共同警備・防衛訓練(2)

US, Japan defenders practice security defense during BM 24-1

November 2, 2023

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4)横田基地で行われた演習「ビバリーモーニング24-1」で、屋上から周囲を監視する第1師団第34普通科連隊の陸上自衛隊員。第374憲兵中隊と航空自衛隊作戦システム運用隊の隊員は、両チーム共同の警備対処力をテストするため、模擬の不法侵入者対応訓練を実施した。(撮影:10月23日)



4

(写真5)模擬訓練で、偽のIDで基地に侵入した人物を拘束する航空自衛隊作戦システム運用隊の隊員。2003年に日米政府間で締結された「ガード・アンド・プロテクト」協定に基づき、国内の基地への脅威が高まった際には、航空自衛隊と陸上自衛隊が米軍施設の警備の強化にあたる。(撮影:10月23日)



5

(写真6)模擬被拘束者を警備車両に連行する航空自衛隊作戦システム運用隊の隊員と第374憲兵隊パトロール隊員カルロス・バスケス上級空兵。(撮影:10月23日)



6